

2021年度日本財団助成事業

「成年後見制度利用促進法における中核機関の  
役割と実務研修」の開催事業  
報告書

2022（令和4）年 6月

一般社団法人 全国権利擁護支援ネットワーク

## はじめに

本事業は、「日本財団 2021 年度助成事業」において実施した、「成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修」の開催事業の記録です。

成年後見制度利用促進基本計画に書いてある中核機関は国が先進的に活動している団体を調べて国の制度に作り上げました。私達の団体は、真の権利擁護支援を行える地域に根付いた中核機関の設置が全国に実現されることを望んでいます。成年後見制度利用促進の中核機関設置の意味は、地域共生社会の実現に向けて、権利擁護支援の視点をもった人材育成をして、誰もが暮らしやすいまちづくりをすることが目的です。地域において権利擁護支援は、成年後見制度だけではないことが理解できている先進的に権利擁護支援を行っている団体が多い、当団体のノウハウを活用して研修を行います。

法律と、福祉の両方の視点を持った専門的な研修、また、多職種が実際に話し合うというワークショップ手法を用いた研修を行うことによって、各々の専門性を向上させる研修の実施を目指しました。なお、地域事情に合わせて研修内容は自由自在に組み換えています。

昨年に引き続き、前代未聞のコロナに巻き込まれて、オンラインが主流になってきました。新しい研修の形式、新しい生活、生き方を真剣に考えていく必要があると痛切に感じています。

本事業の成果が地域の真の中核機関の設立と権利擁護支援センターの拡大に具体的に役立つことになれば幸いです。

2022（令和4）年 6月

一般社団法人 全国権利擁護支援ネットワーク

## 《目 次》

### I. 研修概要 と アンケート . . . . . 1

---

1.	9月 3日	. . . . .	2
2.	12月22日	. . . . .	9
3.	1月19日	. . . . .	16
4.	3月 4日	. . . . .	25
5.	3月 9日	. . . . .	30
6.	3月17日	. . . . .	34
7.	3月18日	. . . . .	38
8.	3月29日	. . . . .	41

### II. 検討委員会 . . . . . 45

---

1.	委員会概要	. . . . .	46
2.	委員会報告	. . . . .	47
3.	全日程を終えての振り返り	. . . . .	54

### (資料) 研修配布資料

---

1.	9月 3日	「権利擁護支援のための中核機関 ～必要性と求められる役割～」	福島 健太
2.	12月22日	「盛岡広域成年後見センター(中核機関)の 取り組み」	菊池 潤
3.	1月19日	「『身寄り』問題と成年後見制度」	芝田 淳
4.	3月 4日	「権利擁護支援の中核となる機関の必要性と役割」	佐藤 彰一
5.	3月17日	「中核機関 にしもろ地区権利擁護推進センター つなご『権利擁護支援の実際と取り組み』」	永井 泰裕
6.	3月18日	「成年後見制度利用促進法における中核機関の 役割と実務研修」	権利擁護支援とは～支援 者に求められる役割～ 山口 正之

# I、研修概要とアンケート

## 成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修開催報告書

1. 日 時 令和3年9月3日（金） 10:00～16:00

2. 会 場 オンライン

3. 参加者数 82人

4. プログラム

(1) 講演「権利擁護支援の基本」「中核機関の役割」

講師：福島 健太さん

(NPO 法人 PAS ネット理事長・全国権利擁護支援ネットワーク副代表・弁護士)

(2) グループワーク

「権利擁護支援の実際の取り組みとグループワーク」

講師：福島 健太さん

今井 友乃さん

(NPO 法人知多地域成年後見センター理事長・全国権利擁護支援ネットワーク事務局長)

桐高 とよみさん

(甲賀・湖南成年後見センターばんじー理事)

菊本 圭一さん

(社会福祉法人けやきの郷 業務執行理事)

5. 報 告

前半の福島先生のご講義では、中核機関とのお話から西宮市の取り組みまでの話をさせていただきました。中核機関とは、成年後見制度だけ対応するのではなく、虐待や相続など幅広い内容に対し必要な機関と連携をしながら支援を進めていくためのネットワークを作ることが大事であると改めて学びました。権利擁護支援を実践していくために、中核となる機関。後半は今井さん、桐高さん、菊本さんのそれぞれの所属の現状をお話いただき、グループワークを行いました。

各地域の中核機関の現状を情報共有することができました。

昨年度、今年度から中核機関の役割を立ち上げた事業所から多くご参加いただき、全国各地での権利擁護支援の仲間に出会えたことが大変うれしく思った。

権利擁護支援の「本人が本人の人生においてより善い人生を送るためには」を伝えていき、一緒になって共通の想いを持つ支援者を増やし、実際の活動をしていくのが中核機関の役割でないかと感じられる研修会でした。

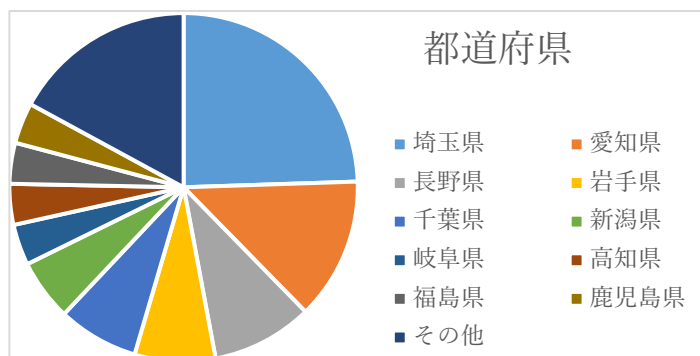
作成者：社会福祉法人鶴ヶ島市社会福祉協議会  
権利擁護支援センター  
渡辺恵美子

護支援従事者研修（2021年9月3日・オンライン）  
アンケート集計結果

回答数：53

1) (A) お住まいは

埼玉県	13名 (24.5%)
鶴ヶ島市	6名
越谷市	2名
以下、各1名	
川越市	富士見市
白岡市	さいたま市
本庄市	



愛知県	7名 (13.2%)		
豊田市	2名	名古屋市	1名
小牧市	2名	新城市	1名
弥富市	1名		

長野県	5名 (9.4%)
中野市	3名
松本市	1名
飯綱町	1名

岩手県	4名 (7.5%)
二戸市	2名
花巻市	2名

千葉県	4名 (7.5%)
千葉市	2名
船橋市	1名
柏市	1名

新潟県	3名 (5.7%)
柏崎市	1名
見附市	1名
魚沼市	1名

岐阜県	2名 (3.8%)
大垣市	1名
美濃加茂市	1名

高知県	2名 (3.8%)
高知市	1名
中土佐町	1名

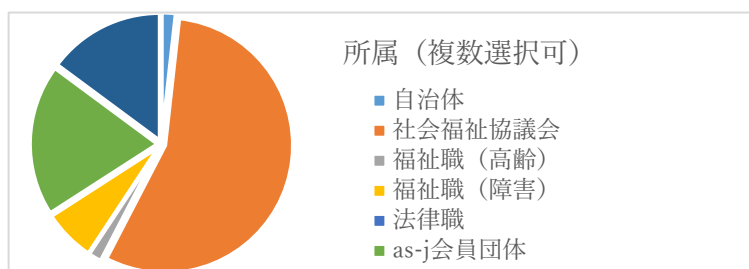
福島県	2名 (3.8%)
会津若松市	1名
檜葉町	1名

鹿児島県	2名 (3.8%)
薩摩川内市	2名

下記、各1名 (各1.9%)					
岡山県	瀬戸内市	大阪府	枚方市	島根県	松江市
沖縄県	宜野湾市	山梨県	南アルプス市	徳島県	鳴門市
群馬県	伊勢崎市	大分県	臼杵市	奈良県	奈良市

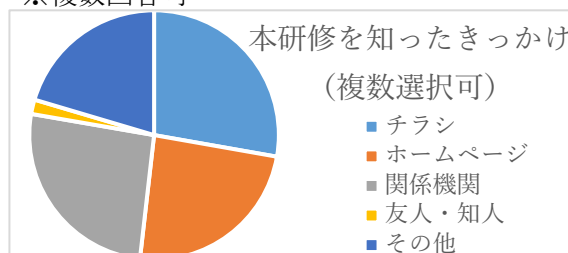
(B) 職種（所属） ※複数回答可

1、自治体	1名
2、社会福祉協議会	32名
3、福祉職（高齢）	1名
4、福祉職（障害）	4名
6、AS-J会員団体	11名
7、その他	9名 (NPO法人5、賛助会員・役員・生活支援員各1)



2) 本研修は何でお知りになりましたか? ※複数回答可

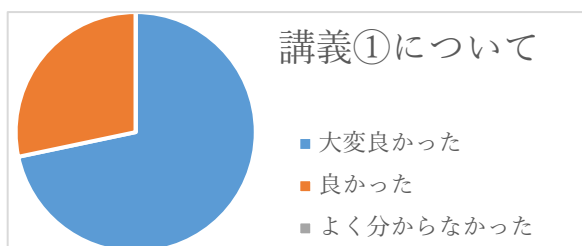
1、チラシ	15名
2、AS-Jホームページ	13名
3、関係機関	14名
4、友人・知人	1名
5、その他	11名



(メール8、フェイスブック1、所属法人1)

3) 講義「権利擁護支援の基本」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	38名 (71.7%)
2、良かった	15名 (28.3%)
3、よく分からなかった	0名 (0%)



1、「大変良かった」

福島先生の話は分かりやすかったです
全国の多くの機関が繋がっていることを実感できた。
当会は来年度の春に中核機関を受託するべく、行政とキューピッチで準備をしています。考えれば、考えるほどわからなくなりつつ、今日のお話を聞いて、まずはやってみるしかないと思えました。ありがとうございました。
わかりやすくポイントが整理されていました。
西宮、芦屋、宝塚の話が興味深かったです。
中核機関とは何かあいまいだったものが分かりやすく整理されていました。
業務上権利擁護を意識することが多い中で、実際に中核機関に関わっていらっしゃる方の話を伺うことができ、連携等のイメージができました。
普段は別の業務についているため、基本から学べてとても勉強になりました。
基礎的なことから理解できた
我々の中核機関では、成年後見制度のみが先を行ってしまい、権利擁護全体への意識が薄いように感じたため、目指すべき理想像をもう一度考え直す良い機会となりました
専門職の先生からならでの講義であり、大変参考になりました。
基本だったので入りやすかった
大変わかりやすく詳しいお話が聞けて、これまで気になっていたことがすっきりしました。
中核機関の必要性や役割が改めて勉強できた。
経験値がつけばつくほど、何度も繰り返し、学ぶことが大事と認識しています。

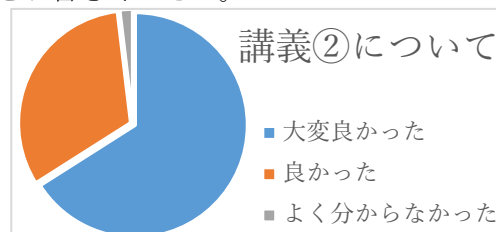
権利擁護について、日々の相談でも本人の立場に立ってと思う反面できていないことのほうが多く、見直したいと思いました。勉強になりました。
中核機関は成年後見制度だけでなく、権利擁護について総合的に対応していくということを改めて認識し、今後にかかしていきたいと感じました。
権利擁護支援について、様々な問題があり奥深いと思いました。
権利擁護支援は地域づくりであるという考えが印象深く残っています。その考えのもと現状の業務を進めていきたいと思います。
中核機関としてではありませんが、今後どのように地域で権利擁護支援を広めていくか、具体的なイメージがつかえました。

## 2、「良かった」

中核機関の必要性が良くわかりました。地域の実情に応じた中核機関の在り方など今後も検討が必要と実感しています。グループワークでは、広報啓発について話すことで、早期に成年後見制度など権利擁護に関する情報を解りやすく発信することが必要であると思いました。
多くの意見や実施 が参考になった
「権利擁護支援は地域づくり」である。覚えておきたいと思いました。
権利擁護は基本の基を改めて確認。
具体的な分かりやすい事例であった。
権利擁護支援が盛んな市の具体的な状況を伺え勉強になりました。わが町も初めからこのようにはいかないとは思いますが、少しずつ追いつければと思います。
グループワークは情報交換の場としてとても有意義で貴重な時間だと思います。

## 4) 講義「中核機関の役割」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	35名 (66.0%)
2、良かった	17名 (32.1%)
3、よく分からなかった	1名 (1.9%)



### 1、「大変良かった」

いろいろな地域の実情が知れました。
西宮の実践を通じて理解しやすかった。
日々勉強です。先進地の話を聴いて、持ち帰りたいです。
中核機関の在り方は多様であると理解しました。
コンパクトに伝わりました。
行政協議との協議のなかでもややしたものがあったが、今日の講義を聞いて腑に落ち



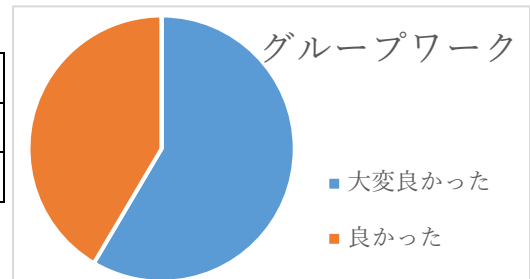
ることがありました。
中核機関がどのような役割を求められる機関なのか勉強になりました。
今後の立ち上げに参考になった
中核機関をすでに担っているところもこれからのところも抱えている課題は同じレベルのことが多く、これからも連携できるといいなあと感じました。
まだまだ、理解が不十分ですので、実践に基づく話が聞けることは貴重だと思います。
ざっくばらんにお話いただいたので、実際の現状をお教えいただいたことと、中核機関としての在り方を改めて考えさせられました。参考にさせていただきたいと思います。
あくまで私見とのことでしたが、理解しやすく砕かれていてわかりやすかったです。
中核機関の役割について、連携システム、地域づくりについて、勉強になりよかったです。
成年後見の相談だけでなく、総合相談の窓口であり、権利擁護支援の中核であることを念頭におき、行政とともに進められればいいと思います。
求められる役割が社協単独では担いきれない。地域の関係機関からの参画も必須だと感じた。

## 2、「良かった」

もっと詳しく聞いてみたかったです。
近隣の市町では、中核機関の立ち上げにとらわれて中身の役割について議論は後回しという心象を持ってしまった。
中核機関が分からなかったのも、どんなことをする機関なのか理解できて良かった。
役割の具体的な詳細がもう少し欲しかった。
後見人等の受任者調整についても話が聞けるとよりよかったです。
具体的な内容でわかりやすかった
基本的なことが復習もかねて分かりました。
市の全ての虐待案件に関わっておられること、市民後見人養成ではなく、権利擁護支援者養成という取り組み、客観的立場で助言等を行う機関の設置等についてのお話が印象的で、大変参考になりました。
行く行くは、児童やDVに対応していくというのは、同意しますが、専門職のスキルアップが課題だと思います。

5) 「権利擁護支援の実際の取り組みとグループワーク」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	31名 (58.5%)
2、良かった	22名 (41.5%)
3、よく分からなかった	0名 (%)



1、「大変良かった」

全国の方とつながることができ、本当に参考になりました。
全国の皆さんと意見交換が出来て大変勉強になりました
質問にいろいろと相談でき有意義な時間でした
遠くの機関と繋がることができ、また同じ仕事をしていても地域性があることを理解来た。
皆さんの生の声が聞こえました。自分のところは遅れているのかなと思っていましたが、同じようなところは多くあり、ちょっとホッとしました。しかし進めて行かなくてはと思っています。
各地の様子を知ることができたのはよかったです。
様々な地域の取り組みを聞くことができたので、大変参考になりました。
実際の活動をお聞きすることができて、大変良かったです。今後の活動の参考にしていきます。
普段会うことがなかなかできない全国の方と情報交換をすることができ大変よかったです。有意義な時間をありがとうございました。
他の地域の方と意見交換ができてよかったです。
近隣市との交流はあったものの、他県の社協と情報交換できる機会がいままでなかったので、先進地の事例や対応を聞くことができて大変参考になった。今後も、このような機会がありましたら是非参加したいです。
中核機関が立ち上がって2か月目ですが、今一番欲しいものは情報です。それも「他の中核機関では、どんな業務を、どのように進めているのか」という部分です。他地域の様子をうかがうことで、非常によい学びになり、また大きな刺激にもなりました。
同上。中核機関を担うために予算や人的確保や組織内での設置に向けた動きなど情報共有ができて良かった。社協の方が多かったので、市町村に対する、丸投げ的な姿勢をどう変えていくのかといったワーキングは楽しかったです。
様々な立場からの中核機関としての取組みのお話が聞けて、大変勉強になりました。ありがとうございました。
実践報告も、グループワークも、どちらも色々な実践アイデアが聞けて勉強になりました

<p>た。事務局の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
<p>それぞれの立場での話が聞けて良かった。</p>
<p>他の地域での現状や取り組みを知れて参考になり、また、悩みを共有したりする中で、今後前向きに取り組んでいこうという気持ちになりました。ありがとうございました。</p>
<p>他市町社協をはじめ、権利擁護支援センターや障害者相談支援機関の方など様々な立場の方々と、一挙にお話が出来てよかったです。皆さんのお話すべてが参考になりました。</p>
<p>皆さん、課題を抱えながら業務に努められているという状況があり、情報、意識共有ができました。ありがとうございました。</p>
<p>他の地域の方々の生の意見をうかがえて、大変参考になりました。</p>
<p>だいたい皆さん同じようなことで悩んでいて、このような情報交換の機会は勉強にもなるし、癒しの時間にもなりました。</p>

## 成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修開催報告書

1. 日 時 令和3年12月22日（水） 10:00～16:00

2. 会 場 オンライン

3. 参加者数 50 人

### 4. プログラム

#### (1) 講演「権利擁護支援の基本」

「中核機関の役割」

講師：福島 健太 さん

(PAS ネット理事長・全国権利擁護支援ネットワーク副代表・弁護士)

#### (2) グループワーク

「権利擁護支援の実際の取り組みとグループワーク」

講師：菊池 潤 さん (盛岡広域成年後見センター副センター長)

佐藤 直樹 さん

(魚沼市社会福祉協議会／全国権利擁護支援ネットワーク運営委員)

今井 友乃 さん

(知多地域成年後見センター理事長／全国権利擁護支援ネットワーク事務局長)

### 5. 報 告

本研修会は、東北地区特にも岩手県及び青森県を中心とした参加者により開催された。また、成年後見制度利用促進基本計画最終年度でもあり、市町村職員や社会福祉協議会職員の参加が多くの割合を占めていた。

第1部では、権利擁護支援と中核機関についての講演を行ない、国が中核機関に求める機能や役割、また、中核機関が成年後見制度の利用促進を担うだけでなく、幅広い視点で権利擁護支援に重点を置いて役割を果たすことが必要である事を認識した。

第2部では、各地域で中核機関をはじめとして権利擁護支援を実践している団体から活動が報告され、その後は講演及び活動報告を踏まえ、参加者個々の地域における中核機関の設置をはじめとする権利擁護支援の状況や課題について共有を行なった。

東北地域においては、中核機関の設置が遅滞している状況にあり、本研修会参加により、各地域における権利擁護支援を含めた促進の一助になった。

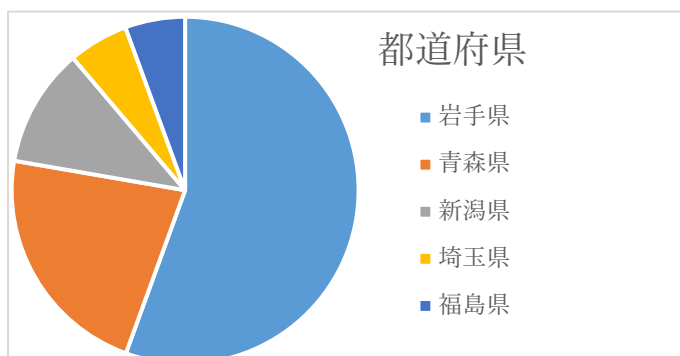
作成者 : 小野寺幸司

護支援従事者研修（2021年12月22日・オンライン）  
アンケート集計結果

回答数：18

1) (A) お住まいは

岩手県	10名 (55.6%)
陸前高田市	2名
奥州市	2名
以下、各1名	
花巻市	二戸市
大船渡市	久慈市
盛岡市	釜石市



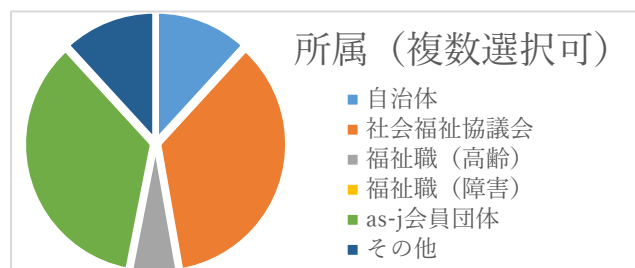
青森県	4名 (22.2%)		
弘前市	2名	八戸市	1名
黒石市	1名		

新潟県	2名 (11.1%)
魚沼市	1名
三条市	1名

下記、各1名 (各5.6%)				
埼玉県	行田市	福島県	いわき市	

(B) 職種（所属） ※複数回答可

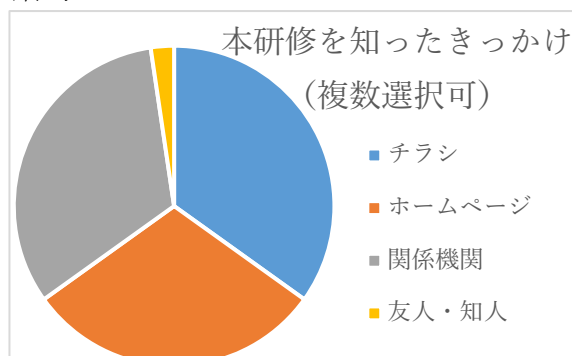
1、自治体	2名 (11.1%)
2、社会福祉協議会	6名 (33.3%)
3、福祉職（高齢）	1名 (5.6%)
4、福祉職（障害）	0名 (0%)
5、AS-J会員団体	6名 (33.3%)
6、その他	2名 (中核機関、個人賛助会員各1名・各5.6%)



無回答 1

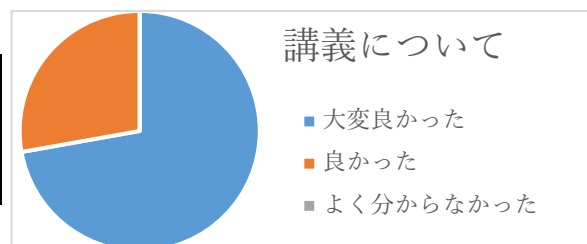
2) 本研修は何でお知りになりましたか？ ※複数回答可

1、チラシ	4名 (22.2%)
2、AS-Jホームページ	5名 (27.8%)
3、関係機関	8名 (44.4%)
4、友人・知人	1名 (5.6%)
5、その他	0名 (0%)



3) 講義「権利擁護支援の基本」・「中核機関の役割」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	13名 (72.2%)
2、良かった	5名 (27.8%)
3、よく分からなかった	0名 (0%)



1、「大変良かった」

福島先生の話は分かりやすかったです
全国の多くの機関が繋がっていることを実感できた。
当会は来年度の春に中核機関を受託するべく、行政とキューピッチで準備をしています。考えれば、考えるほどわからなくなりつつ、今日のお話を聞いて、まずはやってみるしかないと思えました。ありがとうございました。
わかりやすくポイントが整理されていました。
西宮、芦屋、宝塚の話が興味深かったです。
中核機関とは何かあいまいだったものが分かりやすく整理されていました。
業務上権利擁護を意識することが多い中で、実際に中核機関に関わっていらっしゃる方の話を伺うことができ、連携等のイメージができました。
普段は別の業務についているため、基本から学べてとても勉強になりました。
基礎的なことから理解できた
我々の中核機関では、成年後見制度のみが先を行ってしまい、権利擁護全体への意識が薄いように感じたため、目指すべき理想像をもう一度考え直す良い機会となりました
専門職の先生からならではの講義であり、大変参考になりました。
基本だったので入りやすかった
大変わかりやすく詳しいお話が聞けて、これまで気になっていたことがすっきりしました。
中核機関の必要性や役割が改めて勉強できた。
経験値がつけばつくほど、何度も繰り返し、学ぶことが大事と認識しています。
権利擁護について、日々の相談でも本人の立場に立ってと思う反面できていないことのほうが多く、見直したいと思いました。勉強になりました。
中核機関は成年後見制度だけでなく、権利擁護について総合的に対応していくということを改めて認識し、今後にかかしていきたいと感じました。
権利擁護支援について、様々な問題があり奥深いと思いました。
権利擁護支援は地域づくりであるという考えが印象深く残っています。その考えのもと現状の業務を進めていきたいと思えます。
中核機関としてはありませんが、今後どのように地域で権利擁護支援を広めていくか、具体的なイメージがつかまりました。

- ・中核機関の役割が大変分かりやすかったです。後半ももっと詳細を聞きたかったです。
- ・中核機関の必要性を理解できた。
- ・中核機関の役割について再確認できた。これからの業務に活かしていきたいです。
- ・人材の確保の難しさを改めて感じた。
- ・改めて制度のことや今後の課題を学ぶ機会となりました。
- ・とても勉強になりました。権利擁護支援という言葉の意味を知ることができましたし、中核機関の役割とその重要性を理解できました。
- ・中核機関の役割は成年後見だけでなく権利擁護全般に関わることがよくわかりました。  
そして、権利擁護とは高齢者の成年後見だけでなく、障害者や児童の権利についても擁護することであるとよくわかりました。
- ・いわき市では、中核機関として平成 26 年 9 月にいわき市権利擁護・成年後見センターが設置されました。設置に至る過程として、平成 19 年度に長寿介護課が主管となり「いわき市成年後見制度利用支援ネットワーク運営協議会」が設置され、当初は権利擁護という言葉はなじみがない、「成年後見センター」なら予算が取れるといわれたそうです。しかし、関係諸機関（障害福祉課、そよ風ネット、ぱあとなあ等）で権利擁護の意味や意義を粘り強く伝え、時間はかかりましたが最終的には受け入れられた経緯がありました。現在もいわき市直営で運営し、虐待対応支援、意思決定支援研修、市民後見員養成、ネットワークの強化等を行っており、上田晴男さんのアドバイスも受けています。当法人も法人後見として受任や市民後見人の養成に協力しているところです。

## 2、「良かった」

中核機関の必要性が良くわかりました。地域の実情に応じた中核機関の在り方など今後も検討が必要と実感しています。グループワークでは、広報啓発について話すことで、早期に成年後見制度など権利擁護に関する情報を解りやすく発信することが必要であると思いました。
多くの意見や実施 が参考になった
「権利擁護支援は地域づくり」である。覚えておきたいと思いました。
権利擁護は基本の基を改めて確認。
具体的な分かりやすい事例であった。
権利擁護支援が盛んな市の具体的な状況を伺え勉強になりました。わが町も初めからこのようにはいかないとは思いますが、少しずつ追いつければと思います。
グループワークは情報交換の場としてとても有意義で貴重な時間だと思います。

- ・当方、年度途中から権利擁護に触れており、月数の浅い中ではありましたが、かみ砕いてお話くださり、とても分かりやすい講演でした。
- ・当センターも中核機関ですが、私自身が 4 月から入職したため、勉強のために参加しました。

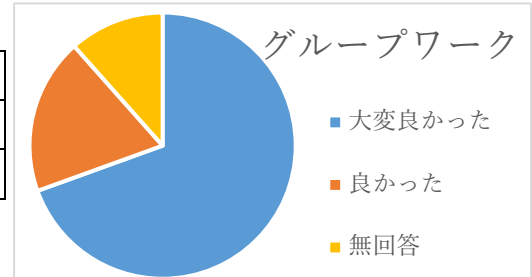
中核機関としての役割を学んで対応していきたいと思いました。

- ・実際に中核機関を運営している経験から、具体的な例を挙げて説明して頂いたので、運営面の課題等が分かりやすかったと思います。

4) 「権利擁護支援の実際の取り組みとグループワーク」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	12名 (66.7%)
2、良かった	4名 (18.2%)
3、よく分からなかった	0名 (0%)

無回答 2



1、「大変良かった」

全国の方とつながることができ、本当に参考になりました。
全国の皆さんと意見交換が出来て大変勉強になりました
質問にいろいろと相談でき有意義な時間でした
遠くの機関と繋がることができ、また同じ仕事をしていても地域性があることを理解来た。
皆さんの生の声が聞こえました。自分のところは遅れているのかなと思っていましたが、同じようなところは多くあり、ちょっとホッとしました。しかし進めて行かなくてはと思っています。
各地の様子を知ることができたのはよかったです。
様々な地域の取り組みを聞くことができたので、大変参考になりました。
実際の活動をお聞きすることができて、大変良かったです。今後の活動の参考にしていきます。
普段会うことがなかなかできない全国の方と情報交換をすることができ大変良かったです。有意義な時間をありがとうございました。
他の地域の方と意見交換ができてよかったです。
近隣市との交流はあったものの、他県の社協と情報交換できる機会がいままでなかったので、先進地の事例や対応を聞くことができて大変参考になった。今後も、このような機会がありましたら是非参加したいです。
中核機関が立ち上がって2か月目ですが、今一番欲しいものは情報です。それも「他の中核機関では、どんな業務を、どのように進めているのか」という部分です。他地域の様子をうかがうことで、非常によい学びになり、また大きな刺激にもなりました。
同上。中核機関を担うために予算や人的確保や組織内での設置に向けた動きなど情報共有ができて良かった。社協の方が多かったので、市町村に対する、丸投げ的な姿勢をどう変えていくのかといったワーキングは楽しかったです。
様々な立場からの中核機関としての取り組みのお話が聞けて、大変勉強になりました。ありがとうございました。



<p>実践報告も、グループワークも、どちらも色々な実践アイデアが聞けて勉強になりました。事務局の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>
<p>それぞれの立場での話が聞けて良かった。</p>
<p>他の地域での現状や取り組みを知れて参考になり、また、悩みを共有したりする中で、今後前向きに取り組んでいこうという気持ちになりました。ありがとうございました。</p>
<p>他市町社協をはじめ、権利擁護支援センターや障害者相談支援機関の方など様々な立場の方々と、一挙にお話が出来て良かったです。皆さんのお話すべてが参考になりました。</p>
<p>皆さん、課題を抱えながら業務に努められているという状況があり、情報、意識共有ができました。ありがとうございました。</p>
<p>他の地域の方々の生の意見をうかがえて、大変参考になりました。</p>
<p>だいたい皆さん同じようなことで悩んでいて、このような情報交換の機会は勉強にもなるし、癒しの時間にもなりました。</p>

- ・各地域の中核機関の取り組みや課題が紹介され、自分たちの地域で何をしたら良いか参考になりました。
- ・発表者の皆さんのお話は大変分かりやすく、参考とさせていただきたい内容ばかりでした。  
身寄りのない方への支援については、当地域でも深刻な問題となっており、魚沼市社会福祉協議会佐藤様のお話は、今後関係機関で話し合う機会を設ける際に是非参考とさせていただきたいと思います。
- ・他の地域の取り組みを学ぶことができて良かった。
- ・身寄りのない方への支援で困っていたので、ガイドラインを作られて取り組まれている発表をお聞きし大変勉強になりました。  
短い時間ではありましたが、他県の方々のお話をお聞きすることができて良い交流ができました。  
地域は違っても支援する根本は同じであることを学ばせていただきました。ありがとうございました。
- ・他の地域の動きや、抱えている課題を聞くことができて大変参考になった。
- ・最後に小野寺さんが、「どの機関であれまずは聞く、それから必要に応じてつなぐことが総合相談の役割を果たす」とお話されましたが、その通りと感じました。押し付け合いではなく、機関も人も「相談しやすい・されやすい」関係を紡いでいくことができれば、中核機関にこだわらずとも、住みよい街になるのではと思いました。今日はありがとうございました。
- ・他の地域の実践報告を聞く機会がなかったので勉強になりました。グループワークも自分には答えられないところもありましたが参考になりました。
- ・各々の特色ある事業展開の様子を知ることができ、大変参考となった。今回仕事の都合上、グループワークには参加できなかったが、また機会があればワークにも参加

し、他地域の活動について意見交換できればと思います。研修企画、ありがとうございました。

## 2、「良かった」

- ・名簿があるとやりやすかったと思います。また研修後もつながりやすいと感じました。
- ・他の機関の取り組みを窺える良い機会となりました。主催者スタッフには準備等大変であったと思います。このような機会を得ることができて感謝いたします。ありがとうございました。
- ・話すテーマを絞り切れなかったのが難しかったです。情報交換できて良かったです。

## 成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修開催報告書

1. 日 時 令和4年1月19日(水) 13:30～16:30

2. 会 場 オンライン・3会場集合ハイブリッド

3. 参加者数 76人

### 4. プログラム

(1) 講義「身寄り問題と成年後見制度」

講師： 芝田 淳 さん

(特定非営利活動法人つながる鹿児島 代表理事／司法書士)

(2) 講義「身寄り問題と中核機関」

講師： 金森 大席 さん

(特定非営利活動法人知多地域成年後見センター事務局長)

(3) 「グループワークと全体共有」

講師： 今井 友乃 さん

(特定非営利活動法人知多地域成年後見センター理事長／  
全国権利擁護支援ネットワーク事務局長)

### 5. 報 告

上記の通り北信越ブロックの研修会を開催しました。

身寄り問題をテーマにしたことで、中核機関に期待される役割が成年後見制度の対象に限らない総合的な相談窓口であることが理解しやすかったと思います。相談業務においては、本人の自己決定を尊重した関りが重要で、それが何よりも権利擁護支援を推進するものであるとの認識が共有できた研修会でした。

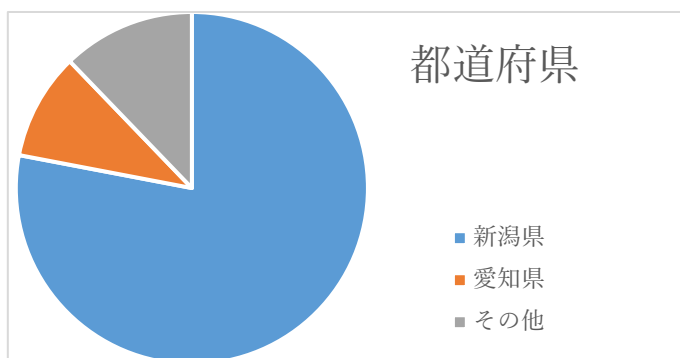
作成者 : 北信越ブロック運営委員 佐藤直樹

護支援従事者研修（2022年1月19日・オンライン）  
アンケート集計結果

回答数：41

1) (A) お住まいは

新潟県	32名 (78.0%)
魚沼市	22名
十日町市	3名
阿賀野市	2名
以下、各1名	
新潟市	湯沢町
南魚沼市	見附市
上越市	

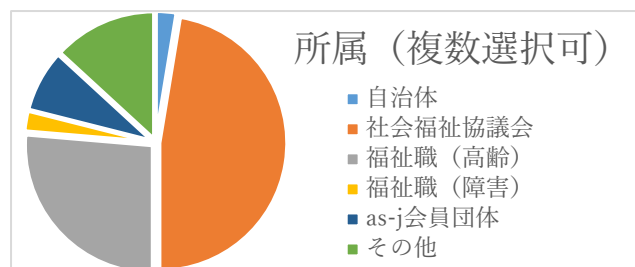


愛知県	4名 (9.8%)		
海部郡	2名	名古屋市	1名
無記入	1名		

下記、各1名 (各2.4%)			
群馬県	前橋市	栃木県	鹿沼市
岩手県	二戸市	埼玉県	行田市

(B) 職種（所属） ※複数回答可

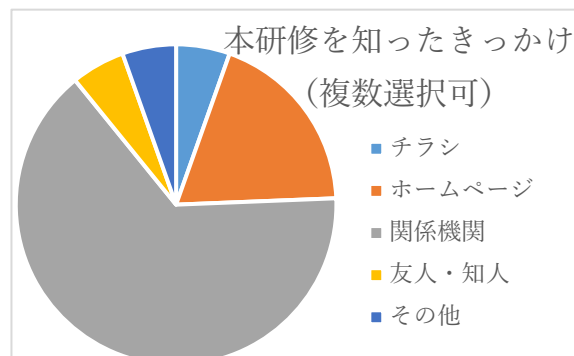
1、自治体	1名 (2.4%)
2、社会福祉協議会	18名 (43.9%)
3、福祉職（高齢）	10名 (24.4%)
4、福祉職（障害）	1名 (2.4%)
5、AS-J会員団体	3名 (7.3%)
6、その他	5名 (12.2%) (NPO法人2名、病院・後見等法人職員各1名)



無回答 2名

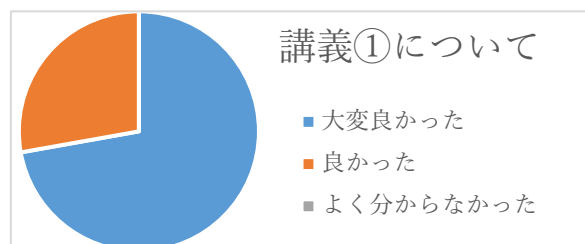
2) 本研修は何でお知りになりましたか？ ※複数回答可

1、チラシ	2名 (4.9%)
2、AS-Jホームページ	7名 (17.1%)
3、関係機関	24名 (58.5%)
4、友人・知人	2名 (4.9%)
5、その他	2名 (4.9%)



3) 講義「身寄り問題と成年後見制度」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	32名 (78.0%)
2、良かった	8名 (19.5%)
3、よく分からなかった	0名 (0%)



#### 1、「大変良かった」

- ・当地域でも課題としてきているテーマで用み深かったです。
- ・地域共生社会に向けて市民活動や互助会を支援していくことも必要な視点と思いました。
- ・分かりやすく、実際に今仕事で直面している内容だったため、お話を聞いて勉強になりました。
- ・理想と現実でいうなら、より現実寄りな話がお聴きでき勉強になりました。
- ・家族構成が多様化しており、身寄りがないことも特別ではないと学びました。
- ・当事者支援の在り方の原点に立て、良かった。
- ・家族がいるということが当たり前で、前提となっている。家族による支援が当然となっているという話があったが、自分もそう思っていた。
- ・互助会の話を聞いて勇気を頂きました。身寄りなしの人が困った人ではないことも実感しました。
- ・『支援付き意思決定支援』の言葉から今までの関りを振り返る機会になりました。
- ・互助会の基盤を魚沼市に作ってほしいです。自分からは発信できない方のつながり作りが身寄り問題と直結していることに初めて気づきました。
- ・今、直面している問題なので身近に感じた。役割について考えること、再度共感した。実践できるようになりたい。
- ・家族だけでなく、支援者や地域でやれることを役割分担することでそれぞれ負担が減り、気持ちの余裕をもって携われると思いました。  
意思の尊重は支援者主体「意思に基づく」という考え方にそうだなあと感じました。意識していきたいです。
- ・芝田さんのお話を魚沼の人に聞いてもらえたことで満足です。
- ・支援付き意思決定と意思決定支援について中心が支援になってしまっているとの言葉に納得する場面がありました。意思決定に必要なのは一緒に考えてくれる人であり、身寄りのない人の支援付き意思決定のためには家族に代わる日常を取り戻すことが必要と理解できました。
- ・家族に頼ることは成り立たない。身寄りがないことが当たり前と思うこと。今まで通りは古い。社会の仕組みも時代に合わせ転換期を迎えていると思いました。

- そういうもの、法律の言葉1つも本当にそうなのか、その時代に合わせた制度、考え方の多様性、本質を見極めること、いろいろ考えさせられました。ありがとうございました。
- つい最近も、親族至上主義の医師に当たってしまい、非常に手間暇がかかるという状況に直面しました。医療者や関係者の理解が不可欠と感じました。  
「一緒に考えてくれる人」が必要という部分が印象に残りました。
- 2回目だったので、より理解を深めることができた。
- 必ずしも法律や制度で身寄りなしの方を支援するのではなく、身寄りがいない方々が集まってお互いに助け合い、支えることで生まれる繋がりがまた大切なんだなと研修を聞いて思いました。
- 家族に「丸抱え」を求める社会＝「家族に関わらない方が賢い」社会になり、身寄りなしも増えている。「家族による支援」の捉え直しが必要で、「身寄りなし」は「第2のスタンダード」になっているということがよく分かりました。解決として一方が支えるだけではなく、当事者からも主体的に動いてもらう三位一体の取り組みを作り上げており、素晴らしいと感じました。
- 社会的孤立は家族関係の希薄さによるものではなく、社会が家族に頼りすぎているということを実例から納得することができました。「身寄りなし問題」とは①連帯保証、②医療決定、③金銭管理、④死後対応という解決すべき4つの課題があること、そして日常生活自立支援援助事業や成年後見制度ではその一部分しか対応できないこと、この問題に向き合うために身寄りのない人同士でつながる活動（鹿児島ゆくさの会）や市町村（新潟市・魚沼市）が死後対応をするときちゃんと示すことが進められていると学びました。
- 大変参考になりました。地域づくりとして住民相互の見守り活動を進めている課に所属しているので、そちらの視点からも目から鱗状態です。他職員にも共有させていただき、こらからの活動に繋げていきたいと思います。日頃感じていることを刺さる良い言葉で表現して頂きました。まだまだたくさん講義を受けたかったです。ありがとうございました。
- 成年後見制度が身寄りの代替として必要とされていることを実務でも実感しており、共感しました。今回の講義で今まで感じていたよりも、身寄りの課題はどの世代にも、広く課題であることを学びました。互助会でのつながりが、身寄り問題を問題にさせないことにつながると感じました。
- 家族支援が前提の社会からの転換の必要性を感じた。  
互助があることにより、現在をより楽しく生きることができ、そして終末期や亡くなる時も侘しきや寂しきなく、安心して最期を迎えることができるなど感じ、自分たちも互助組織を作っていきたいと思いました。

- ・家族がいること、「身寄り」がいることが当たり前の前提となった社会だからこそ身寄りなし問題が生じていて、高齢者の権利が侵害され、若者の将来の可能性が著しく削られている現状があり、家族機能を捉え直し、意識を変えていく必要があるとの話が印象的で、もう少しじっくりと講演を聞いてみたいと思いました。
- ・身寄りなし問題のネットワークが進んでいるところの話を聞いて良かった。
- ・身寄りがないのは例外でなく、第2のスタンダードだという言葉が印象に残った。身寄りがない方のことを特別視していたことに気が付いた。そして、身寄りがないということは、支えてくれる人がいないと共に、役割がないということ。互助会というエンパワメントに着目した取り組みはとても素晴らしいと思った。都市部の名古屋で同じことを実践するのは難しいかもしれないが、このようなエッセンスを盛り込んでどんなことができるのか考えたい。

## 2、「良かった」

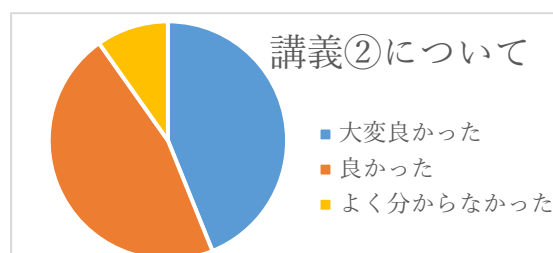
- ・孤立した状態での意思決定は良くない。だからこそ、孤立させないための何かを考え実施することが必要と思った。(ex. 互助会など)  
役割を持つことの重要性は全てに通ずると思いました。ありがとうございました。
- ・もう少しじっくり話が聞けると良かった。
- ・家族機能について、家族(親族)関係が希薄だったり、親が高齢だったりするケースに関わることが多くなり、現代社会と家族機能について確認できて良かった。また、当事者同士の取り組みが興味深く、単身世帯や地域同士のつながりをうまく生かしていく機能を作る必要性を感じた。
- ・知的障害者支援施設で業務しています。日々業務の中でも家族の意思を尊重する部分は多く本人の意思確認がどれだけできているか考えるきっかけになりました。
- ・高齢者施設に勤務しており、成年後見制度を利用されている方も数名います。ゆくさの会ややどかりの様な先端的な活動には程遠く、憧れる反面、自身の未熟さを痛感しました。

## 「印なし」

- ・“身寄りがない”ということがどういうことか、学ぶことができ、単に困難ケースということではなく、どういう視点で見えていくか、とても勉強になった。

## 4) 講義「身寄り問題と中核機関」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	18名 (43.9%)
2、良かった	19名 (46.3%)
3、よく分からなかった	4名 (9.8%)



## 1、「大変良かった」

- ・ 知多センターの先駆的取り組みを参考とさせていただきます。
- ・ 制度や契約による解決の副作用は納得でした。中核機関の目的を地域共生社会の創造と、説かれたことは、腑に落ちました。私見の続きを拝聴いたしたいです。
- ・ 社会の仕組みが徐々に変わってきた中で、中核機関の設置を契機に地域の仕組みを再構築していく視点が必要かと思いました。新たな課題を認識し、対応していく力も必要と思いました。  
知多成年後見制度利用促進計画も拝見しましたが、とても参考になりました。
- ・ 実体験を踏まえた説明が参考になりました。
- ・ 当市でも相談できる場所があるということを、積極的にアピールする必要があると感じました。
- ・ 成年後見センターでの様々な取り組みを教えて頂きありがとうございました。広域で、多くの方が成年後見制度につながっており、必要としている方が必要な支援を受けることができていると感じました。
- ・ 知多地域成年後見センターのHPを常々チェックさせていただき、参考人らせて頂いています。毎回、活動のヒントを与えて頂き、今回の講義もセンターの活動が見え良かったです。最後の成年後見制度は関わるきっかけだという言葉は使わせていただこうと思います。
- ・ 知多地域成年後見センターの具体的な取り組みを聞くことができて良かった。
- ・ 具体的な動きをしているところの話聞くことができて良かった。
- ・ 法人後見の実施を「強み」としながらも積極利用は勧めず、一緒に何かやることを肝にしている点が芝田さんらの活動と通底しているように感じました。
- ・ 知多の取り組みは広域なのにネットワークが良く、刺激を受けます。
- ・ 最後の自分のことは自分で決めることのできる人や街であるために、というところが印象に残りました。
- ・ 中核機関以上の取り組みは大変参考になりました。
- ・ 身寄り問題はじめ個の問題が地域福祉づくりに反映されることから日々の交流を「軽いネットワークでより多く」と感じました。

## 2、「良かった」

- ・ 阿賀野市の場合は、中核機関は行政が担うことになっておりますが、どのような役割なのかを再確認できました。
- ・ 知多地域成年後見センターさんのこれまでの丁寧な取り組みをお聞きすることができた。入会地という例えがとても分かりやすく、すてきな表現だと思う。中核機関の職員として、社協の職員として権利擁護と地域福祉を常に意識しながら仕事に向き合いたいと改めて思った。

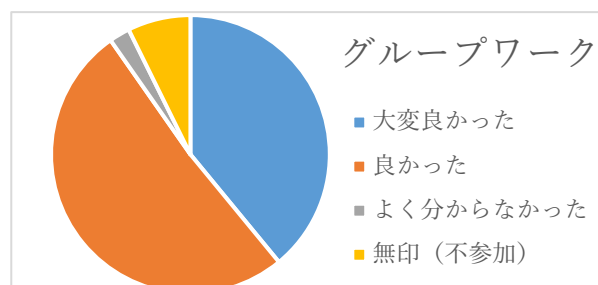


- ・今後柏崎市も中核機関を設立予定なので参考にさせていただきます。
- ・中核機関が立ち上がっていない段階で、幅広い事業をおこなっており素晴らしいと感じましたが、当市では難しいのが現実です。取り組む優先順位を考えながら、知多の活動を参考にしていきたいと思います。
- ・以前より身寄りのない方々が多くなる中で、それを取り集める方、期間というのが必要で、そこには様々な相談が寄せられるんだと知ることができました。
- ・知多地域の取り組みは、魚沼市とも規模も人口も違うが、取り組んでいることは魚沼市社協さんの取り組みに近いのかな、と思いながら聞かせていただいた。一支援者がすべて担うことは難しいですが、各関係機関と役割分担し、協力していけると良いと思った。
- ・施設に入所されている方で補助人が付いている方がいます。なかなか直接的に後見人さんとの関わりが持てておらず、悩んでいるところですが、しっかりとネットワーク作りをする必要と家族がいなくてもその方を支えていくチーム作りをしたいと思いました。
- ・中核機関が設置されると、事業所内で対応が分からない時に相談する場所が増えてありがたく感じます。それぞれの立場で協力しあい、利用者の方の対応がスムーズにできるようになると良いと思いました。
- ・個別課題は住みやすい地域を作るきっかけだなと感じました。
- ・中核機関の役割や活動について知ることができて良かったです。
- ・中核機関の役割について学ぶことができました。実際関りがないので、これから勉強したいと思います。
- ・権利擁護サポーター養成事業について、詳しくお聞きしてみたいです。
- ・中核機関については、少し難しかった。
- ・互助会、良いシステムだと思います。

5) 「グループワークと全体共有」について、ご意見、ご感想をお書きください。

1、大変良かった	16名 (39.0%)
2、良かった	21名 (51.2%)
3、よく分からなかった	1名 (2.4%)

※無印（不参加含む） 3名



#### 1、「大変良かった」

- ・他の地域の状況が知れて有意義でした。
- ・いろいろな地域、立場の方のご意見を伺うことができ、勉強になりました。
- ・比較的地域が近い古河市社協さんとお話しすることが出来ました。課題や対応について共感できる部分があり、また、進んだ取り組みをされている社会資源が地域にある

ことが分かり、良い刺激となりました。新潟市社協さんや岡山居宅ケアマネさんともお話ができ、全国規模で情報交換ができることにも感動しました。

- ・社協の方たちの業務の実情・ご苦勞を知ることができ良かった。
- ・講義を受けて広がった内容を、それぞれの立場や活動の話として聞けました。立場や役割は違っていても想いは同じだなと実感できました。
- ・最初戸惑いもあったが、他の意見が聞けて良かった。意外と時間が不足してしまい、残念だった。コロナが終わったら時間を気にせず、色々話せるようになりたい。
- ・今、魚沼ではACPの普及を病院中心で進めており、「ACPと意思決定」「身寄りと意思決定」と重なる部分があることをグループワークを通して再確認できました。
- ・皆さんの意見や考えを聞いて、自分も共感でき良かったです。ありがとうございました。
- ・互助会では仲間の力を再認識させられました。
- ・様々な機関の話聞いて良かった。身寄りなし問題難しいですが、皆さんと一緒に考えていきたいと思いました。
- ・いろいろな立場からのご意見を聞くことができる良い機会でした。ありがとうございました。
- ・身寄りの問題があるということを知ることができたと思います。
- ・他の方の意見を聞いて内容の確認ができた。

## 2、「良かった」

- ・他市の状況などを聞いて勉強になりました。
- ・少人数で質問もしやすく有意義な時間になりました。
- ・芝田様の講演内容に皆さんの感動感があることが分かりました。
- ・ブレイクアウトルームは進行とか発表を決めて進められたらもっと良かった。
- ・全国の関係機関の話聞いて良かった。
- ・zoomミーティングによる聴講で申し込んだがグループワークがあり、びっくりした。グループワーク直前に退出される方も見受けられた。
- ・皆さんのお話を聞きながら、いつか死ぬのはみんな一緒。家族でも知人でもよいので、「一緒に考えてくれる人」「一緒にしてくれる人」が必要で、備えをしておくことで今の生活がもっと豊かに楽しく前向きになっていくのではと感じた。貴重な機会をありがとうございました。
- ・所用で途中退席となってしまいましたが、同じ行政の立場の人の関りを聞いて良かったです。
- ・他の地域の特性など聞いて良かった。グループワークで進行してくれる方が決まっているとスムーズに意見後見できたのかなと思いました。
- ・他県の方とお話する機会が持てると思わなかったなので、うれしかったです。所属分

野が全く違うので、着眼点も違って新鮮でした。共通して言えたことは意思決定支援で、身寄りなし問題から派生し一歩踏み込んだ内容の研修も受講してみたいと思いました。

- 立場で、感じるものが違うので共有できてそういう意見、感想を聞くことができ参考になった。
- 多くのグループの発表、感想を聞くことができ良かったです。
- 知らずうちに、支援者本意の意思決定になっていることに気づいた。気を付けたい。

### 3、「よく分からなかった」

- 声が聞きとりにくかったです。また自分の感想の至らない部分も指摘されてしまい、自身の問題意識の低さも感じて反省しているところです。

## 成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修開催報告書

1. 日 時 令和4年3月4日（金） 10:00～16:00
2. 会 場 三重県教育文化会館 6階多目的ホール／オンライン
3. 参加者数 68 人
4. プログラム

(1) 講演「権利擁護支援の基本」「中核機関の役割」

講師：佐藤 彰一さん

(全国権利擁護支援ネットワーク代表・國學院大学法学部教授・弁護士)

(2) 実践報告「権利擁護支援の実際と取り組み」

講師：矢澤 秀樹 さん

(伊那市社会福祉協議会地域福祉課長/上伊那成年後見センター センター長)

嶋恒 智之 さん

(伊勢市社会福祉協議会/伊勢市成年後見サポートセンター センター長)

西 千晴 さん (玉城町保健福祉課地域共生室/社会福祉士)

市川 知律 さん (玉城町権利擁護検討会総合アドバイザー/三重県社会

福祉士会 ぱあとなあみえ運営委員会)

コーディネーター 田邊 寿 さん

(全国権利擁護支援ネットワーク副代表・伊賀市社会福祉協議会 事務局長)

(3) 「グループワーク」・「グループごとの発表・全体共有」

講師：今井 友乃 さん

(知多地域成年後見センター理事長/全国権利擁護支援ネットワーク事務局長)

### 5. 報 告

午前中の講演で、中核機関の役割と成年後見制度の二期計画の解説がわかり易かったようである。

午後の実際の取り組みの報告は、バリエーションのある形態の話を書くことができ有意義であったようである。

グループワークは、地域性があり事情がよく分かった中での、話し合いが良かったようである。また、違う側面では、違う地域の話も刺激的であったようである。講師陣がグループに参加したので、身近に質問ができてよかったようである。持ち帰りの多い研修であった。

作成者 : 今井友乃

護支援従事者研修（2022年3月4日・ハイブリッド形式）  
アンケート集計結果

回答数：32

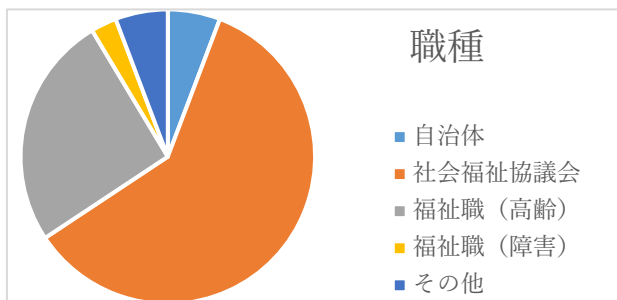
1) (A) お住まいは

三重県	29名 (%)		
津市	5名	紀北町	2名
松阪市	3名	菰野町	2名
志摩市	2名	名張市	2名
鈴鹿市	2名		
以下、各1名			
伊賀市	紀宝町	鳥羽市	明和町
木曾岬町	多気町	南伊勢町	
多度町	大紀町	尾鷲市	

下記、その他都道府県各1名 (各%)	
北海道	札幌市
沖縄県	宜野湾市
鳥取県	鳥取市

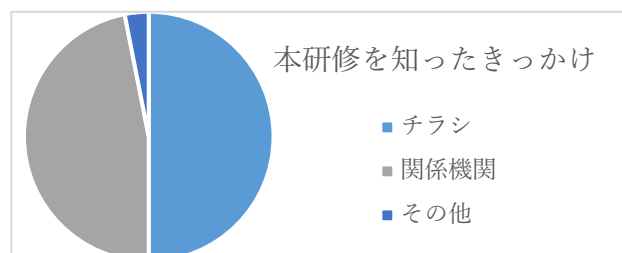
(B) 職種（所属） ※複数回答可

1、自治体	2名
2、社会福祉協議会	20名
3、福祉職（高齢）	9名
4、福祉職（障害）	1名
6、AS-J会員団体	0名
7、その他	2名



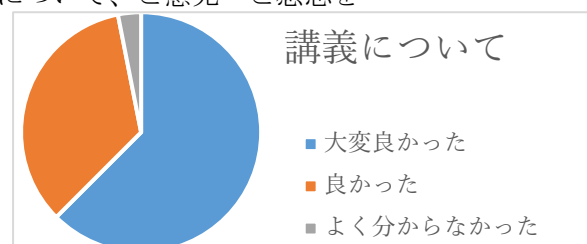
2) 本研修は何でお知りになりましたか？ ※複数回答可

1、チラシ	16名
2、AS-Jホームページ	0名
3、関係機関	15名
4、友人・知人	0名
5、その他	1名



3) 講義「権利擁護支援の基本」・「中核機関の役割」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	20名 (62.5%)
2、良かった	11名 (34.4%)
3、よく分からなかった	1名 (3.1%)



### 1、「大変良かった」

- ・中核機関について、よくわかった。
- ・現在中核機関設置に向けて協議中であるため、大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・勉強になる話ばかりでした。
- ・中核機関に求められる役割が、精査されながら、変わってきていることが分かった。
- ・意思決定支援が重要であることは理解出来るが、実際日常生活自立支援事業の範囲内で支援できることも限りがあり、補う制度や事業が必要であると感じた。
- ・第二期促進計画の内容がよくわかりました。
- ・権利擁護の基本的な考え方を繰り返し学び、また周知していくことの重要性を改めて学べ、良かった。
- ・「支援者側の能力」や考え方など、対象者の意思や事情ではない点においても支援の在り方、成果に大きく影響し得ること、また国際的にも多様な捉え方、国ごとに異なる方針があるという点が印象的だった。ある一定の方法論の確立が絶対ではなく多様な捉え方を常に想定して取り組みたい。

### 2、「良かった」

- ・「権利擁護は地域づくり」がずっと入ってきた 大切にしたいです。
- ・一般的な考え方がよく分かった。

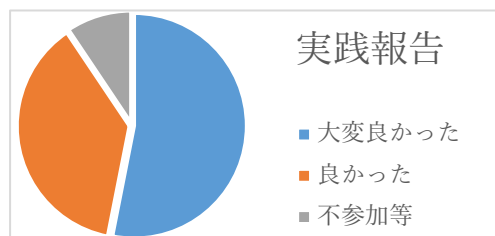
### 3、「よく分からなかった」

- ・(会場で参加の方) 今日全体に言えることであるが、マイクの音が聞く取りにくくどの講義も半分くらいしか理解できなかった。  
各々重要なテーマが話されたが、よく聞き取れず資料を見ながら何を話されているか理解するのみであった。

4) 実践報告「権利擁護支援の実際と取り組み」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	17名 (53.1%)
2、良かった	12名 (37.5%)
3、よく分からなかった	0名

※無印、不参加 3名



### 1、「大変良かった」

- ・他市町の取り組み内容を聞いて、今後のイメージを作ることが出来ました。ありがとうございました。
- ・参考になりました。

- ・それぞれの地域性に合わせて、試行錯誤して取り組まれているところに共感しました。
- ・地域性の異なる中核機関を設置している複数の自治体の意見を聞くことが出来て良かった。
- ・先進的な取り組みの代表的な発表で他の自治体が参考にしてもらえる報告が聞けたと思います。

## 2、「良かった」

- ・本人の代弁者となることが大切であることを改めて学ぶことができました。今後の業務に役立てたいと思います。
- ・具体的に中核機関をどんな形でしているかを知ることができ参考になりました。
- ・各発表とも中心となる人や会議があつての展開でその必要性が理解できた。

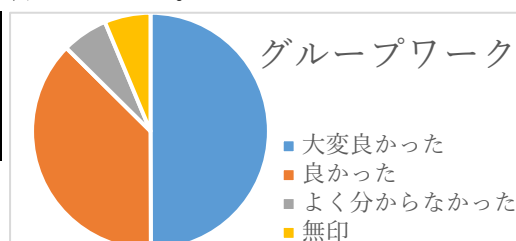
### ※印なし

- ・期待通りでなかったのが残念である。
  - ・異なる経緯、形式で機関の設置に至った複数件の取り組み例を比較できる点で、大変参考になった。また組織の規模に関わらず、他の団体、機関との協力体制が重要であることも認識できた。
- 機会があれば、関係機関での役割分担の経緯もより詳しく伺いたかった。

## 5)「グループワーク」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	16名 (50%)
2、良かった	12名 (37.5%)
3、よく分からなかった	2名 (6.3%)

※無印 2名



### 1、「大変良かった」

- ・少人数であることで質問もしやすく、話しやすい雰囲気、またばあとなあの方が場を回して下さって助かりました。ありがとうございました。
- ・各地の状況を確認できてよかった うちの地域の参考にします。
- ・制度や求められる役割と、実際の業務の中での問題点についてお聞きすることができ勉強になりました。
- ・異なる立場の支援についてや、講師の先生から直接回答を頂けて良かった。

### 2、「良かった」

- ・中核機関の大切さはりかいしているがそれを動かす人材をいかに育てるかが最重要だと思う。

### 3、「よく分からなかった」

- ・zoom に不慣れなこともあり上手くできませんでした。今後に活かしたいと思います

#### ※印なし

- ・他の参加者の専門職としてのご経験からの知見についてお話頂けたことはこの年ほどでは直接お会いして、という形ではめずらしくなってしまった、という点でも貴重な経験だった。特に今研修会で取り上げられた中核機関が、地域包括支援センターのように普及していく取り組みに各団体の期待を述べて頂けたのはありがたい経験だった。



## 成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修開催報告書

1. 日 時 令和4年3月9日(水) 10:00～15:00
2. 会 場 津別町役場 健診ホール／オンライン
3. 参加者数 59人

### 4. プログラム

#### (1) 講演

「権利擁護支援とは」

講師：福島 健太さん

NPO 法人 PAS ネット理事長・全国権利擁護支援ネットワーク副代表・弁護士

#### (2) 成年後見人の実務

##### ①相続が発生した時の留意点

講師：今井 友乃さん

(知多地域成年後見センター理事長/全国権利擁護支援ネットワーク事務局長)

##### ②死後事務に関する対応

講師：水戸 由子さん

(ジャスミン権利擁護センター 代表/社会福祉士

/全国権利擁護支援ネットワーク北海道ブロック 運営委員)

### 5. 報 告

権利擁護支援の話は、事例などがあり分かり易かった。

実務の話は、それぞれの講師の実体験に即した話で聞きやすかった。また、相続の話は講師と、弁護士の Q&A 形式で行われ珍しくもあり、役割分担がよくわかりいい形であったと感じた。今後はこのようなやり方もいいと思えた。

作成者 : 協力委員 寺尾 玲香

成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修  
 (2022年3月9日・北海道ブロック／ハイブリッド)  
 アンケート集計結果

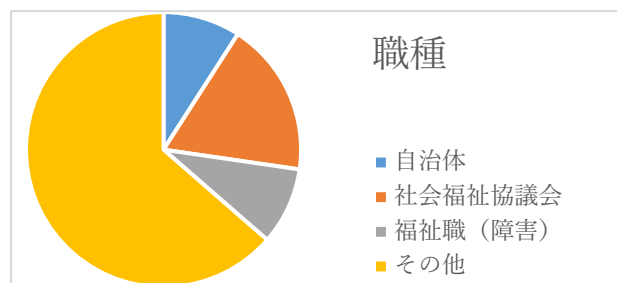
回答数：11

1) (A) お住まいは

北海道	11名 (100%)
津別町	11名 (100%)

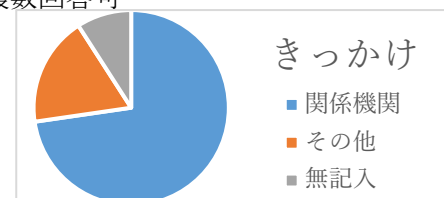
(B) 職種 (所属) ※複数回答可

1、自治体	1名 (9.1%)
2、社会福祉協議会	2名 (18.2%)
3、福祉職 (高齢)	0名
4、福祉職 (障害)	1名 (9.1%)
5、法律職	0名
6、AS-J会員団体	0名
7、その他	7名 (63.6%・市民後見人4、民生委員1、無記入2)



2) 本研修は何でお知りになりましたか? ※複数回答可

1、チラシ	0名
2、AS-Jホームページ	0名
3、関係機関	8名 (72.7%)
4、友人・知人	名
5、その他	2名 (18.2%・社会福祉協議会より案内2)



※無記入 1名

3) 講義「権利擁護支援とは…」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	4名 (36.4%)
2、良かった	6名 (54.5%)
3、よく分からなかった	0名

※無記入 1名

1、「大変良かった」

- ・自治体の理解を広めてください。
- ・社協と協力して事案に取り組んでいます。

## 2、「良かった」

- ・中核機関があいまいな機関のように思えた。今後増えてくる機関なのだろうと思いますが、我が町ではどこが担うのであろうか？
- ・中核機関の役割、必要性は理解できた。地域（津別町）の現状に合わせるのが大切。津別の実状、課題の把握、打開策も行政も一緒に考えて動いていければと思う。
- ・ちょっと難しかった。
- ・中核機関のお話はとても難しかったです。

## 4) 講義「成年後見人の実務①相続が発生した時の留意点」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	9名 (81.8%)
2、良かった	2名 (18.2%)
3、よく分からなかった	0名

### 1、「大変良かった」

- ・被後見人の年齢からすると、相続の発生は必然的に来る。準備は早めにとということ、学習しました。
- ・大変難しく感じました。
- ・いろいろなケースや必要な書類、そして証拠が大切とのこと、日常の記録も気を付けて記入するようにしたい。
- ・相続はいろいろなパターンがあるので、とても難しいのかなと思いました。

## 5) 講義「成年後見人の実務②死後事務に関する対応」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	8名 (72.7%)
2、良かった	3名 (27.3%)
3、よく分からなかった	0名

### 1、「大変良かった」

- ・今後私たちが後見人のお手伝いをするにあたり、とても分かりやすくお話しいただいてよかったです。
- ・急ぎ対策をしておくべきことがよく分かりました。知るべき用語が新たに出てきました。学習します。
- ・具体的でわかりやすかった。
- ・とても良いお話を聞いた。(お墓のこと)
- ・死後には関わりたくない、生前確認大切ですね。

- ・事前調査が大切。相続人など

## 2、「良かった」

- ・後見人業務終了について現在の担当の方を思い浮かべ戸惑いを感じています。いつ来るのか不明な終了までの準備を整えてゆかなければならないと思う。せめて指針的なものを作っておかないとと…

## 成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修開催報告書

1. 日 時 令和4年3月17日(木) 13:00~17:00

2. 会 場 オンライン

3. 参加者数 31人

### 4. プログラム

(1) 講演 「権利擁護支援の基本」「中核機関の役割」

講師：福島 健太さん

(NPO 法人 PAS ネット理事長・全国権利擁護支援ネットワーク副代表・弁護士)

(2) 実践報告 「権利擁護支援の実際と取り組み」

講師：河野 岳洋 さん

(延岡市高齢者福祉協会/延岡・西臼杵権利擁護センター所長)

永井 泰裕 さん

(権利擁護センターみらい/西諸地区権利擁護推進センターつなご センター長)

(3) 「グループワーク」・「グループごとの発表・全体共有」

### 5. 報 告

(1) にて福島先生より中核機関の役割並びに、実際に西宮市での取組の説明があった。地域連携ネットワークのコーディネーターであり、利用促進法にて体制整備を含めた施策を地域の実情に合わせて整備する責務が自治体にあること。特にネットワークの構築においては「地域住民を巻き込んでいく活動」「権利擁護支援は地域作りである」との話しあり。また地域の実情を把握し、分析結果におけるニーズの充足が必要であり実際の取組を分かりやすくご教授いただいた。

(2) では実践報告として延岡市と西諸地区から2名の実践報告あり。具体的にどのような業務をしているのか。地域の特性等に合わせた工夫などがみられた。

(3) では参加者が様々な職種であり、職種における困りごとに焦点を当てたグループワークとなった。それぞれの立場での関わりを共有することで、共通する課題、職種から見える利用者像や、取り巻く環境をうかがい知れる貴重な体験となった。グループ内だけに限定されるかもしれないが、顔が見える関係が作られ相談出来る機会を得られたことが収穫であった。参加者の多くは地域では先駆的に取り組んでおり、一緒に悩める仲間がいない現状がある。それを打開するのが、今回の研修であると感じた。

オンライン開催ということで九州以外の参加者や、リアル開催では旅費や時間の拘束にて参加が難しかった方も気軽に参加できオンラインならではのメリットを感じた。ただ参加者の偏り(同じメンバー)もあり、参加していない団体へのアプローチが(1回参加さえすれば良い研鑽の機会)今後の課題と感じた。以上簡単ですが、報告とします。

作成者 : 瀬戸口 高代

成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修  
 (2022年3月17日・九州沖縄ブロック/オンライン)  
 アンケート集計結果

回答数：15

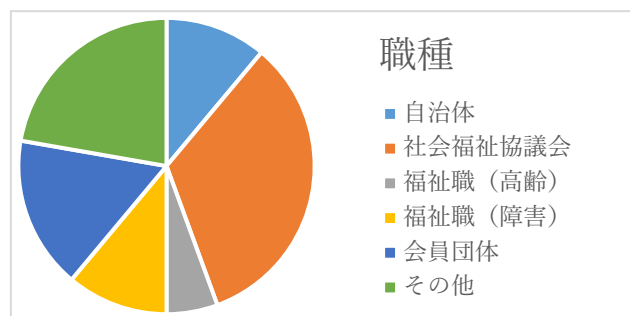
1) (A) お住まいは

宮崎県	8名 (53.3%)
小林市	4名
以下、各1名	
宮崎市	高原町
延岡市	都城市

宮崎県外	7名 (46.7%)
鹿児島県 (4名)	薩摩川内市 (3名)、さつま町 (1名)
沖縄県 (2名)	沖縄市、宜野湾市 (各1名)
福岡県 (1名)	久留米市

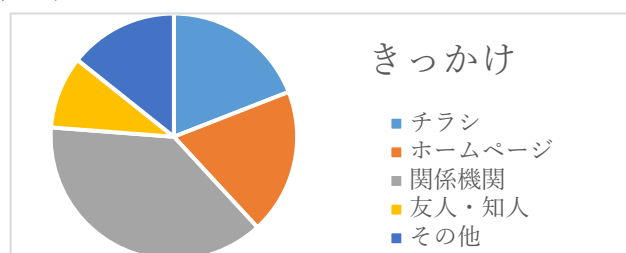
(B) 職種 (所属) ※複数回答可

1、自治体	2名 (13.3%)
2、社会福祉協議会	6名 (40%)
3、福祉職 (高齢)	1名 (6.7%)
4、福祉職 (障害)	2名 (13.3%)
5、法律職	0名
6、AS-J会員団体	3名 (20%)
7、その他	4名 (26.7%)



2) 本研修は何でお知りになりましたか? ※複数回答可

1、チラシ	4名 (26.7%)
2、AS-Jホームページ	4名 (26.7%)
3、関係機関	8名 (53.3%)
4、友人・知人	2名 (13.3%)
5、その他	3名 (20%)



3) 講義「権利擁護支援の基本」・「中核機関の役割」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	13名 (86.7%)
2、良かった	1名 (6.7%)
3、よく分からなかった	0名

※不参加 1名

#### 1、「大変良かった」

- ・お疲れさまでした。
- ・必要性や求められる役割など、イメージできました。
- ・初心者でも権利擁護支援を行うために必要なこと、中核機関の役割と連携の仕方について大変分かりやすかったです。高原町の地域課題やネットワークを知るための視点も見えて今後活かしていきたいです。
- ・個人的に研修不足や情報不足もあり、相談機関、権利擁護に関する情報等知ることができ、今後の支援に繋げていけたらと思います。ありがとうございました。
- ・福島先生の話しが分かりやすかったです。
- ・丁寧に説明していただき理解していけそうです。ありがたいです。
- ・西宮市では、後見に限らず、権利擁護支援活動が盛んだということ。課題もあるということでしたが、実際に多くの活動をされてるとのこと、中核機関が大事であることがわかりました。今後私たちの地域でもより一層このように活動が盛んに行われ、必要になったときに、安心して暮らせるといいと思いました。

#### 4) 実践報告「権利擁護支援の実際と取り組み」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	13名 (86.7%)
2、良かった	2名 (13.3%)
3、よく分からなかった	0名

#### 1、「大変良かった」

- ・中核機関が始まっている現場の話を聴けて、大変参考になりました。地元を活かせたらと思います。
- ・実際の制度利用までのチェックシートや流れなど支援の中で検討していきたいと思います。
- ・先駆的に取り組まれている事例を知ることができ、本市にも活用していきたい。
- ・近隣の市町村の取り組みであったので視察などに行きたいと思います。
- ・具体的な取り組みの、分かりやすい資料が大変参考になりました。
- ・この地域での高齢化率が、すでにこんなに高いとは思っていませんでした。これから一層高くなり、後見の必要性が高くなると思います。後見人支援がスムーズにできるように考えられていることなど、ご苦労が多いようですが、力の入った研修をされているのがわかって今回、参加させていただいて、良かったと思います。

## 2、「良かった」

- ・時間が足りなかった。

### 5)「グループワーク」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	9名 (60%)
2、良かった	3名 (20%)
3、よく分からなかった	1名 (13.3%)

※不参加 2名

#### 1、「大変良かった」

- ・中核機関を担う方の話を聴けてよかった。自分の地域を振り返るきっかけにもなりました。全国的な集まりの強みだと思います。
- ・とにかく緊張しました。
- ・権利擁護、後見に関する各機関の取り組みや実際等を聞くことができ、とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・色々な職種の方が参加しており、幅広い意見が聞けて良かった。
- ・中核機関について、よくつかめていないことが多く不安そうにしていたのかもしれませんが「いつでも相談して」「資料もありますよ」と声を掛けてくださり、みなさんのうなずきもあり心強かったです。ありがとうございました。
- ・日頃より、権利擁護支援に携わっている方の参加が多かったため、私には難しい話もあったのですが、後見の件数が増えていることや、改善点など、生の声が聞けて良かったと思います。

市民後見人として、市に登録して、時々開催されるフォローアップ講座に参加してはいますが、後見人の責任の重さに、何がお手伝いできるのだろうかと考えつつ、活動に繋がることは無いまま7,8年がたち今回、たいした知識の無い私が参加するのは、場違いかと思いましたが、思い切って参加させていただきました。

活動されている現場の方々が積極的に学ばれていることやご苦労が分かりました。またいつか、私にできることがあればいいと思います。

#### 2、「良かった」

- ・いろいろ話が聞けて良かったです。

#### 3、「よく分からなかった」

- ・途中参加であったという事と、体制は基本的な国のガイドラインに沿うので大差ないのかと。実務レベルでは、後見等の必要性は明白ですがその事務の中身は、最終的にはコミュニケーションの問題になると思います。システムと、個々のケースに起きる関係性との差がどこに生まれるのかある程度の理解をして運営しないと、排除の構造の強化をしたいと思います。



## 成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修開催報告書

1. 日 時 令和4年3月18日（金） 13:00～17:00

2. 会 場 オンライン

3. 参加者数 15 人

4. プログラム

(1) 講演

「権利擁護支援とは～支援者に求められる役割～」

講師：山口 正之 さん

(萩長門成年後見センター理事長/全国権利擁護支援ネットワーク副代表/弁護士)

(2) 実践報告

「権利擁護支援・中核機関の実践」

講師：今井 友乃 さん

(知多地域成年後見センター理事長/全国権利擁護支援ネットワーク事務局長)

(3) 「グループワーク」

「グループごとの発表・全体共有」

5. 報 告

コロナ禍のなか、「成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実践研修」をオンラインで開催しました。

まず初めに「権利擁護支援とは～支援者に求められる役割～」と題して、全国権利擁護支援ネットワークの山口副代表（萩長門成年後見センター理事長/弁護士）よりお話をいただきました。

その中で、本人に能力があることを前提に支援をする「能力存在推定」を行う必要があり、本人と寄り添いながら関わることの重要性を学ぶことが出来ました。

次に「権利擁護支援・中核機関の実践」と題して、全国権利擁護支援ネットワークの今井事務局長(知多地域成年後見センター理事長)よりお話をいただきました。

知多地域は先駆的に活動を実践されており、知多地域成年後見センターの特徴や取組み、そして後見業務をしていくうえで大切にしておられること等のお話を聞き、今後各地で取り組みが進んでいく体制づくりに参考に出来る点や後見業務の携わり方を学ぶことが出来ました。

また後段のグループワークでは、本研修での学びや交流を通して、現場で起こっている課題を語り合える場となり、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

ありがとうございました。

作成者：社会福祉法人出雲市社会福祉協議会

成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修  
 (2022年3月18日・中国四国ブロック/オンライン)  
 アンケート集計結果

回答数：3

1) (A) お住まいは

高知県	中土佐町
兵庫県	丹波篠山市
大分県	大分市

(B) 職種 (所属) ※複数回答可

2、社会福祉協議会	3名
3、福祉職 (高齢)	1名
4、福祉職 (障害)	1名
7、その他	1名 (フリーランス看護師)

2) 本研修は何でお知りになりましたか? ※複数回答可

4、友人・知人	1名
5、その他	2名 (フェイスブック、以前の研修会で)

3) 講義「権利擁護支援とは～支援者に求められる役割～」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	2名
2、良かった	1名
3、よく分からなかった	0名

1、「大変良かった」

- ・伴走支援や支える・支えられる一方向ではない関係性など、わかっているつもりでいた言葉の理解が深まりました。お話がとても分かりやすく、自分の支援を振り返りながら聞かせて頂きました。
- ・「支援をしない支援」＝繋がりを続け見守る支援には相手との信頼関係がないとできないことだと改めて感じました。そして、支援する中で多くの関係者との縁で、互いに学びあうことができること、変化することに大変共感しました。ありがとうございました。

2、「良かった」

- ・「権利擁護支援」を改めて考える機会が得られました。

- 4) 実践報告「権利擁護支援・中核機関の実践」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	2名
2、良かった	1名
3、よく分からなかった	0名

1、「大変良かった」

- ・毎回、知多後見センターの話を聞くと規模がすごいのと人材に恵まれていることに関心させられます。受任件数も多い中、さらに研修の多さに驚きました。本人中心の支援をしてきた実績が今につながっているのだと思います。研修内容も参考になりました。大変なことも沢山あると思いますが、まずはご自分のお体に十分気を付けてください！
- ・次年度から自立支援協議会や包括の運営協議会などに権利擁護支援センターを委員として位置付けるかどうか協議しているところなので、参考になりました。最後の大切にしていることが刺さりました。

2、「良かった」

- ・「権利擁護支援センター」は市民から支持されるように敷居が低い方がいいと思いました。市民活動からスタートしている権利擁護支援センターは継続性があると思いました。

- 5) 「グループワーク」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	3名
2、良かった	0名
3、よく分からなかった	0名

1、「大変良かった」

- ・少人数で話しやすく、私たちも生活者であり互いの生活の中から気づきが語り合えたことも良かったです。リアルで話をできる日を楽しみにしています。フリーランス活動者もエンパワメントされました。参加させていただきありがとうございました。
- ・大変有意義でした。
- ・他の研修のグループワークはテーマが大抵ありますが、今日のグループワークは日頃思うことやぶっちゃけトークで共感することが多々ありました。グループワークでの縁も大切にしたいと思います。とても有意義な研修で良かったです。

## 成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修開催報告書

1. 日 時 令和4年3月29日(火) 13:00～17:00

2. 会 場 オンライン

3. 参加者数 21人

4. プログラム

(1) 講演

「権利擁護支援の基本」

「中核機関の役割」

講師：福島 健太さん

NPO 法人 PAS ネット理事長・全国権利擁護支援ネットワーク副代表・弁護士)

(2) 実践報告

「権利擁護支援の実際と取り組み」

講師：矢澤 秀樹 さん

(伊那市社会福祉協議会地域福祉課長/上伊那成年後見センター センター長)

小野寺 幸司 さん

(カシオペア権利擁護支援センター センター長/

全国権利擁護支援ネットワーク運営委員)

(3) 「グループワーク」・「グループごとの発表・全体共有」

講師：今井 友乃 さん

(知多地域成年後見センター理事長/全国権利擁護支援ネットワーク事務局長)

5. 報 告

参加者は少数であったが、後半のグループワークでは、参加者全員で同じ画面で意見交換ができたこと、全員が発言する機会があったことはとてもよかった。

実践報告ではそれぞれの地域ならではの実践を聞くことができ、「権利擁護支援は地域づくり」ということを再認識した。

参加者がそれぞれ権利擁護支援に問題意識を持って参加されていることが伺えた。

現地事務局としては、オンライン開催だったため、気軽に参加ができたことはよかったが、開催時期と周知については、次回以降検討したい。

作成者 : 協力委員 桐高とよみ

成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務研修  
 (2022年3月29日・近畿ブロック／オンライン)  
 アンケート集計結果

回答数：7

1) (A) お住まいは

滋賀県	3名 (甲賀市、草津市、不明)
愛知県	2名 (知多市、常滑市)
兵庫県	1名 (西宮市)
長野県	1名 (駒ヶ根市)

(B) 職種 (所属) ※複数回答可

2、社会福祉協議会	1名
3、福祉職 (高齢)	1名
4、福祉職 (障害)	1名
5、法律職	1名
6、会員団体	4名
7、その他	2名 (社会福祉士事務所1)

2) 本研修は何でお知りになりましたか? ※複数回答可

1、チラシ	3名
2、ホームページ	2名
3、関係機関	1名
4、友人・知人	2名
5、その他	0名

3) 講義「権利擁護支援の基本」・「中核機関の役割」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	4名
2、良かった	3名
3、よく分からなかった	0名

1、「大変良かった」

- ・ 基本的なところをしっかりと復習出来ました。
- ・ 中核機関に求められるものや、中核機関の現状がよく理解できました。
- ・ 駒ヶ根市の地域包括で3年間嘱託で勤務していた間に促進法・基本計画の波が押し寄せてきました。中核機関って何?、地域連携ネットワーク…?という日々でした。それでも他の職員たちと手引書を読みあったり、後見ニーズを調査したり、矢澤さんのイメージを共有しあったりで、何とか中核機関の設置と協議会の発足までこぎつけました。今日福島先生のお話を聞き、できたところ、できていないところ、考えてもいなかったところなどが、改めて整理された気がします。今は、市の勤務を終えています、中核機関や地域連携ネットワークの充実に、一専門職として協力できればと思いました。ちな

みに今は協議会の座長を仰せつかっていますので、今日のお話を参考にさせていただきます。ありがとうございました。

- 4) 実践報告「権利擁護支援の実際と取り組み」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	4名
2、良かった	3名
3、よく分からなかった	0名

1、「大変良かった」

- ・社協が行う地域に密着した取り組みや、NPO 法人ならではのフットワークの軽さや柔軟な連携について、特徴的な団体だと感じました。愛知県とは地域差ありながらも似たような感じでやっているなと感じました。
- ・それぞれの地域に特色があり、課題があることがわかりました。
- ・地域によっていろいろな権利擁護支援があることを改めて知れた。励みになった。
- ・人口5万人のカシオペア地域でもこんなに素晴らしい活動を、しかも促進法・基本計画以前の早期の段階からやってこられたことに感銘を受けました。ちなみに私の駒ヶ根市は3万人です。小さな町で人材も少ないしなあ…という言い訳は成り立ちませんね。竹内俊一先生の言われる「リーダーの存在は不可欠である。その条件は、①ミッション(使命感)、②パッション(熱意)、③ハイテンション(高い士気)である。」ですね。

2、「良かった」

- ・社協ががつつり関わっているところもある事を知った。いろいろな事例があり勉強になった。
- ・実際の業務等について具体的に説明して下さったので分かりやすかったです。

- 5) 「グループワーク」・「各グループからの報告とまとめ」について、ご意見・ご感想をお書きください。

1、大変良かった	4名
2、良かった	2名
3、よく分からなかった	0名

※不参加 1名

1、「大変良かった」

- ・少人数だったので、参加者の皆さんとても話やすい雰囲気だったと思います。
- ・少人数で踏み込んだ話をできたのがよかったです。本日は参加させていただきありが

とうございました。

- ・アットホームな雰囲気、みなさんの忌憚のない意見が聞けて、良かったです。
- ・初めての参加でしたが、それぞれの地域で活躍されておられる方々と顔が見えて話を聞いたことがとても嬉しかったです。皆さんはやっぱり、ミッション・パッション・ハイテンションでした。

## 2、「良かった」

- ・人数が少なくて、質問や感想を話すことになったのはよかった。

## II、検討委員会



## 1、委員会概要

### 【開催日時・場所】

	日時	開催場所
第1回	4月24日 15:00～17:00	オンライン
第2回	8月28日 15:00～17:00	自団体事務所 (千葉県船橋市)・ オンライン併用
第3回	11月20日 15:00～17:00	
第4回	1月15日 15:00～17:00	

### 【委員】

氏名	所属
佐藤 彰一	特定非営利活動法人 PACガーディアンズ (委員長)
田邊 寿	社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会
福島 健太	特定非営利活動法人 PASネット
山口 正之	一般社団法人 萩・長門成年後見センター
今井 友乃	特定非営利活動法人 知多地域成年後見センター
水戸 由子	一般社団法人 ジャスミン権利擁護センター
小野寺 幸司	特定非営利活動法人 カシオペア権利擁護支援センター
佐藤 直樹	社会福祉法人 魚沼市社会福祉協議会
瀬戸山 雅光	一般社団法人 権利擁護センターみらい
山田 隆司	特定非営利活動法人 東濃成年後見センター

### 【事務局】

氏名	所属
立石 絢子	一般社団法人 全国権利擁護支援ネットワーク

## 2. 委員会報告

### 日本財団助成事業「成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務」

#### 研修開催事業 検討委員会（第1回） 報告書

- ・開催日時： 2021年4月24日（土） 15時より
- ・場所： 自団体事務所・オンライン（zoom）ハイブリッド
- ・出席者： 佐藤（彰）委員、田邊委員、福島委員、山口委員、今井委員、水戸委員、佐藤（直）委員、瀬戸山委員

#### 1] 検討委員会日程について

今後の検討委員会の日程について確認された。

第2回8月28日（土） 第3回11月20日（土） 第4回1月15日（土）

#### 2] 事業内容の確認

##### 1、研修事業開催候補候補とブロック内の現況報告のまとめ

ブロック	開催地	ブロック内の現況（担当者）
北海道		管内に限定して広報、参加者を募集。
東北		（委員欠席のため、個別に検討）
関東	埼玉県内	鶴ヶ島市社会福祉協議会（菊本さん）
北信越	オンライン	オンライン開催可、リアルは難しい。
中部・東海	三重県内	三重県内（田邊さん）
近畿		今後、ブロック内で検討
中国・四国		今後、ブロック内で検討
九州・沖縄		今後、ブロック内で検討

##### 2、研修開催地決定に向けて

- ・次回検討委員会までにブロック内と事務局で検討を進める。

##### 3、現地事務局との打ち合わせ

- ・コロナの影響を鑑みて、基本的に打ち合わせはオンラインで行う。

##### 4、ブロック交流会について

- ・地域での（研修内容等の）ニーズの把握、ネットワーク機能の強化を目的とし、各ブロックで交流会を開催。（試験的な試みでもあるため、オンラインをメインに検討）次回、検討委員会で時期の確認を行う。

日本財団助成事業「成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務」  
研修開催事業 検討委員会（第2回） 報告書

- ・開催日時： 2021年 8月28日（土） 15時より
- ・場所： 自団体事務所・オンライン併用
- ・出席者： 佐藤（彰）委員、田邊委員、福島委員、山口委員、今井委員、  
水戸委員、小野寺委員、佐藤（直）委員、瀬戸山委員

1、研修事業決定開催地

ブロック	時期・日程	進捗状況・現地事務局（担当者）	開催形式
北海道	検討中	検討中	検討中
東北	検討中	検討中	オンライン？
関東	9月3日	鶴ヶ島市社会福祉協議会（渡辺さん） 講師に福島先生、桐高さん、菊本さん、今井さん	オンライン 講師のみ集合
中部東海	検討中	三重県内、中核機関となっている複数の社協さんと調整中。	集合
北信越	年内目途	ブロック内で調整中。	オンライン
近畿	検討中	検討中	
中国四国	遅めの時期	山口県内 福島先生と住田さんに講師を依頼する予定	
九州沖縄	検討中	検討中	

検討中の項目については、ブロック交流会の中で意見を出してもらい、検討。

2、研修内容の検討

・講義

『権利擁護支援の基本』、『中核機関の役割』

『(案) 身寄り問題に関して』

講義講師（候補）： 佐藤彰一、福島健太、山口正之、上田晴男

・実践報告

実際に中核機関の職員の方から実務や課題についてお話しいただく。

現地事務局の地元の方、先進地域の方取り混ぜて数人に短めに報告をお願いする。

・グループワーク

講義と報告を聞いての感想、情報共有、現在の業務での困りごとを話し合う場としてもらいたい。

また、中核機関の立ち上げ、運営について疑問や不安の解消に役立ててもらえる

よう、誘導していく。

ファシリテーター（候補）： 今井友乃、田邊寿、水戸由子、桐高とよみ

### 3、ブロック交流会の開催について

各ブロックで引き続き時期等の検討を行う。

全ブロックオンラインで行う。

ブロック内の連絡にはブロックメーリングリストを作り、活用していく。

北信越は日程調整詰めの段階。

### 4、進捗状況

- ・ 関東ブロックの研修会は現在申込受付中。
- ・ 昨年度に引き続き、コロナ関係で研修開催の依頼が難しい。各団体本来の自団体の事業も難しい中、この研修を付け加えて行うことは大変困難を極めている。

### 4、視察について

- ・ 視察地域を選定中。
- ・ コロナの状況も考慮して時期を決定していく。
- ・ 11月下旬に、山口県 知的障害者の施設入所者の権利擁護の現状について施設見学を予定する。
- ・ 1月下旬ごろ、子どもの権利擁護に関して検討する。

日本財団助成事業「成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務」  
開催事業 検討委員会（第3回） 報告書

- ・開催日時： 2021年 11月20日（土） 15時
- ・場所： 自団体事務所・オンライン併用
- ・出席者： 佐藤（彰）委員、田邊委員、山口委員、今井委員、水戸委員、小野寺委員

1、開催済み研修会参加人数

	日程	ブロック	開催方法	参加人数
1	9月3日	関東	オンライン	82名

2、今後の研修会開催日程

ブロック	日程	現地事務局団体	開催地・開催方法
北海道	検討中		
東北	12月22日	カシオペア権利擁護支援センター あおい森ねっと	オンライン
北信越	1月19日	魚沼市社会福祉協議会 アドボネットながの	オンライン
中部東海	3月9日	三重県社会福祉士会 ぱあとなあみえ	三重県教育文化会館
近畿	検討中		
中国四国	検討中		
九州沖縄	検討中		

3、各研修会の内容と講師

日程	ブロック	研修内容	講師
9月3日	関東	講義『権利擁護支援の基本』 『中核機関の役割』	福島 健太さん (PAS ネット)
		実践報告 『権利擁護支援の実際の取り組み とグループワーク』	今井 友乃さん (知多地域成年後見センター) 桐高 とよみさん (甲賀・湖南成年後見センターぱんじー) 菊本 圭一さん (けやきの郷)

12月22日	東北	講義『権利擁護支援の基本』 『中核機関の役割』	福島 健太さん
		実践報告『権利擁護支援の実際の 取り組みとグループワーク』	菊池 潤さん (盛岡広域成年後見センター) 佐藤 直樹さん (魚沼市社会福祉協議会) 今井 友乃さん (知多地域成年後見センター)
1月19日	北信越	講義『身寄り問題と成年後見制度』	芝田 淳さん (つながる鹿児島)
		講義『身寄り問題と中核機関』	金森 大席さん (知多地域成年後見センター)
		グループワークと全体共有	今井 友乃さん (知多地域成年後見センター事務局長)
3月4日	中部東海		佐藤 彰一さん(国学院大学法学部教授)

#### 4、ブロック交流会について

ブロック	各ブロックの日程
北海道	11月24日(水) 16:00
東北	2月18日(金) 13:30
関東	12月16日(木) 17:00
中部東海	12月7日(火) 16:00
北信越	9月29日(水) 10:00(済)
近畿	10月27日(水) 17:00(済)
中国四国	12月14日(火) 17:00
九州沖縄	12月9日(木) 17:00

全ブロックオンラインで開催予定

現在、2か所終了。

オンラインのため、多くの団体に参加してもらっている。

情報交換ができることやなかなか相談しづらい点を話す機会となり、参加して良かったとの声が多かった。

#### 5、研修会開催後の振り返り

<関東/9月3日>

講師と現地事務局の担当者は会場に集合し、参加者はオンラインという形式。

全国から参加申し込みがあり、この研修会への期待感が窺えた。

日本財団助成事業「成年後見制度利用促進法における中核機関の役割と実務」  
開催事業 検討委員会（第4回） 報告書

- ・開催日時： 2022年 1月15日（土） 15時
- ・場所： 自団体事務所・オンライン併用
- ・出席者： 佐藤（彰）委員、田邊委員、福島委員、山口委員、今井委員、水戸委員、小野寺委員、佐藤（直）委員、瀬戸山委員

1、研修事業参加人数

	日程	ブロック	受講人数
1	9月3日	関東	82名
2	12月22日	東北	50名

2、今後の研修会開催日程

日程	ブロック	現地事務局団体	会場・開催方法
1月19日	北信越	魚沼市社会福祉協議会 アドボネットながの	オンライン
3月4日	中部東海	三重県社会福祉士会 ぱあとなあみえ	三重県教育文化会館 オンライン併用
3月9日	北海道	津別町社会福祉協議会	津別町役場 オンライン併用
3月17日	九州沖縄	権利擁護センターみらい	オンライン
3月18日	中国四国		オンライン
3月29日	近畿	甲賀・湖南成年後見センター ぱんじー	オンライン

3、今回までに決定した各研修会の内容と講師

日程	ブロック	研修内容	講師
3月4日	中部東海	講義『権利擁護支援の基本』 『中核機関の役割』	佐藤 彰一さん (國學院大学法学部教授)
		実践報告 『権利擁護支援の実際と取り組み』	矢澤 秀樹さん(伊那市社会福祉協議会・ 上伊那成年後見センター) 嶋垣 智之さん(伊勢市社会福祉協議会・ 伊勢市成年後見サポートセンター) 西 千春さん(玉城町保健福祉課)

			市川 知律さん (三重県社会福祉士会・ぱあとなあみえ)
		グループワーク	今井 友乃さん (知多地域成年後見センター)
3月9日	北海道	講義『権利擁護支援とは・・・』	福島 健太さん (PAS ネット)
		成年後見人の実務① 『相続が発生した時の留意点』	今井 友乃さん (知多地域成年後見センター)
		成年後見人の実務② 『死後事務に関する対応』	水戸 由子さん (ジャスミン権利擁護センター)
3月17日	九州沖縄	講義『権利擁護支援の基本』 『中核機関の役割』	福島 健太さん (PAS ネット)
		実践報告 『権利擁護支援の実際と取り組み』	河野 岳洋さん (延岡市高齢者福祉協会・ 延岡・西臼杵権利擁護センター) 永井 泰裕さん(権利擁護センターみらい・ 西諸地区権利擁護推進センターつなご)
		『グループワーク』 『グループごとの発表・全体共有』	
3月18日	中国四国	講義『権利擁護支援とは』 ～支援者に求められる役割～	山口 正之さん (萩長門成年後見センター)
		実践報告 『権利擁護支援・中核機関の実際』	今井 友乃さん (知多地域成年後見センター)
		『グループワーク』 『グループごとの発表・全体共有』	
3月29日	近畿	講義『権利擁護支援の基本』 『中核機関の役割』	福島 健太さん (PAS ネット)
		実践報告 『権利擁護支援の実際と取り組み』	矢澤 秀樹さん (伊那市社会福祉協議会・ 上伊那成年後見センター) 小野寺 幸司さん (カシオペア権利擁護支援センター)
		『グループワーク』 『各グループからの報告とまとめ』	今井 友乃さん (知多地域成年後見センター)

- ・11月30日 山口県 視察 知的の入所の権利擁護 社会資源が少ない地方で工夫をしている。
- ・1月27日 輪島市役所の子どもの地域包括ケア、重層的支援体制整備事業を行われているようなので、視察予定。



### 3、全日程を終えての振り返り

#### 1、開催後の各地の振り返り

< 12月22日・東北ブロック（オンライン） >

- ・よその地域の活動が知れてよかったようだ。
- ・権利擁護支援で、中核として身寄り問題があるのを知った。

< 1月19日・北信越ブロック（オンライン） >

- ・身寄り問題を中核機関と絡めて取り扱った。  
オンライン開催だったこともあり、全国から多数の参加者申し込みがあり、各地で身寄り問題が顕在化していると感じられた。

< 3月4日・中部東海ブロック（三重県教育文化会館・オンライン） >

- ・会場参加とオンラインのハイブリッド開催。  
ハイブリッドではあったが、オンラインで全国から多数方に参加してもらえた。
- ・地元から3人の方の実践報告があり、多様な中核機関の実務について話を聞いた。

< 3月9日・北海道ブロック（津別町役場・オンライン） >

- ・津別町社協主催の市民後見人のフォローアップ研修の一環としてもらっていたこともあり、中核機関の役割から、死後対応等より実務的な話を掘り下げた。
- ・死後事務対応に関しては事前のブロック交流会で要望が多かった部分であり、研修会として形にできたことは今年度の成果の一つと言えると思う。
- ・グループワークは行わなかった。

< 3月17日・九州沖縄ブロック（オンライン） >

- ・現地の中核機関の職員の方の実践報告では、少人数だったこともあり、リアルな話が聞けた。
- ・グループワークでも講師を交えて中核機関の設立や運営について話し合うことができた。

< 3月18日・中国四国ブロック（オンライン） >

- ・こじんまりとした人数でのワークだったので、ぶっちゃけトークのようで、本音が聞けたし。深い話ができる。

< 3月29日・近畿ブロック（オンライン） >

- ・岩手のカシオペア権利擁護支援センターと上伊那後見センターからの実践報告があり、地域性の違いはあるものの中核機関の運営や支援の姿勢等、学びの多い話を聞くことができた。

## 2、各地の参加人数とアンケートでの満足度のまとめ

	日程	ブロック	受講人数	アンケート満足率 (回答数)
1	9月3日	関東	82名	99.1% (53)
2	12月22日	東北	50名	94.5% (18)
3	1月19日	北信越	76名	93.5% (41)
4	3月4日	中部東海	90名	94.8% (32)
5	3月9日	北海道	67名	97.0% (11)
6	3月17日	九州沖縄	31名	91.1% (15)
7	3月18日	中国四国	20名	100% (3)
8	3月29日	近畿	21名	100% (7)